

令和6年度認知症疾患医療センター研修会 『認知症の新時代を拓く』の開催報告

【開催概要】

- (1)日 時 令和6年11月8日(金) 18:30~20:00
(2)開催方法 オンラインにて開催
(3)講 師 兵庫県立はりま姫路総合医療センター
認知症疾患医療センター長 嶋田 兼一 先生
演題:「アルツハイマー病治療新時代~レカネマブ・ドナネマブについて~」
(4)参加者数 110 関係機関 150 名

(関係機関の内訳)

開業医	19 関係機関	20 名
居宅介護支援事業所	15 関係機関	24 名
地域包括支援センター	5 関係機関	11 名
認知症疾患医療センター	3 関係機関	7 名
病院	21 関係機関	63 名
訪問看護ステーション	11 関係機関	14 名
薬局	6 関係機関	8 名
歯科医院	1 関係機関	1 名
社協・その他	2 関係機関	2 名

(職種の内訳)

医師	25 名	看護師	44 名
認知症認定看護師	5 名	薬剤師	8 名
歯科医師	1 名	作業療法士	9 名
保健師	1 名	公認心理師	3 名
主任介護支援専門員	19 名	介護支援専門員	7 名
社会福祉士	14 名	精神保健福祉士	7 名
介護福祉士	2 名	認知症担当	1 名
理学療法士	4 名		

(5).本日の講演会についてのご意見、ご感想。

- ・レカネマブ・ドナネマブについて、最先端の治療について詳しく教えて頂き良かったです。
- ・レカネマブとドナネマブのターゲットの違いや、比較がとてもわかりやすく大変勉強になりました。
- ・生活習慣についてご説明があったので、良かったです。
- ・認知症、予備軍人口が増加している中、睡眠時間、歯の本数、会話時間など生活面で認知症を予防することができるを知ったので、患者様や家族にも伝えていこうと思います。
- ・アルツハイマー型認知症には早い対処が大事なのだと改めて知ることができて、とても有意義な講義でした。
- ・レカネマブがニュースに出た頃から患者様に聞かれることもあったので、大変勉強になりました。
- ・認知症になると必ず進行すると思っていましたが、認知症の疾患修飾薬が認可されたことで、希望を持ちました。今までは、軽度だと思われる方に受診を勧めることが難しかったですが、「予防」という事で進めやすくなりました。

他にも沢山のご意見・ご感想を頂きありがとうございました。今後の研修会の参考にさせていただきます。